

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正 使用 措置	感染症(PT)	出典	概要
												異型クロイツ フェルト-ヤコ ブ病	HPA/Health Protection Report 1(3) 2007年1月19 日	英国で4例目の輸血関連vCJD可能性例が診断された。こ の症例は供血後約17ヶ月でvCJDを発症したドナーからの 赤血球輸血を受け、8年半後にvCJDを呈した。このドナー は3例目の輸血関連vCJD症例へのドナーでもある。4例 目の症例はプリオン蛋白遺伝子のコドン129がメチオニン ホモ体であった。まだ生存中である。
												ウエストナイル ウイルス	CDC/MMWR 2007: 58(4): 76-79	ID-NATを用いた強化スクリーニング開始以降に、初めて 西ナイルウイルス輸血感染症例が報告された。2006年に 免疫不全患者2例が、感染ドナー1例(献血時のMP-NAT の結果は陰性)由来の血液製品を投与された後、西ナイ ル神経根性疾患を発症した。今回の例はID-NATは実 施されておらず、ID-NATトリガーを促進することが重要で ある。
												トリパノソーマ 症	CDC/MMWR 2007: 58(7): 141-143	血液供血におけるTrypanosoma cruzi感染検出のための 研究的アッセイを評価するために、アメリカ赤十字は2006 年8月から2007年1月に米国の3つの血液収集センターで 148969の血液検体をスクリーニングする臨床試験を行っ た。その結果、32供血(4655例中約1例)がT. cruzi抗体陽 性と確定された。シャーマン病に關する血液供血スクリー ニングが広がるにつれ、保健当局はシャーマン病に關す る診断、評価、管理に關する質問の増加を予期すべきで ある。
												ウイルス感染	ProMED- mail20070423.1325	オーストラリアのVictoriaで、一人のドナーから臓器移植を 受けた3例が死亡したが、未知のウイルスが原因であっ た。このウイルスはリンパ性脈絡髄膜炎ウイルスと近縁で あったが、既存のスクリーニング法では検出されなかつ た。454 Life Sciencesによって確立された迅速シーケン シング技術とGreene Laboratoryによって開発されたハイ オインフォマティクスアルゴリズムによって発見された。